

Professional Dante audio interface  
with 2 I/O

# PLANET 22X

ユーザーガイド



# planet 22x オーディオインターフェース

## 目次

<b>1. イントロダクション</b> .....	<b>3</b>
1.1 主な機能 .....	4
<b>2. その他のソフトウェア</b> .....	<b>7</b>
2.1 Dante Virtual Soundcard (DVS) .....	7
2.2 Dante Controller (DC) .....	7
<b>3. planet 22x を使用する</b> .....	<b>8</b>
<b>4. 技術仕様</b> .....	<b>9</b>
4.1 基本 .....	9
4.1.1 入力 .....	9
4.1.2 出力 .....	9
4.1.3 寸法 .....	9
4.2 オーディオ仕様 .....	10
4.2.1 出力 .....	10
4.2.2 入力 .....	10
4.3 電源 .....	11
<b>5 一般情報</b> .....	<b>12</b>

## 1. イントロダクション

ESI planet 22x をご購入いただき誠にありがとうございます。

planet 22x は、広く使われている Dante プロトコルをベースとした最新のネットワークオーディオテクノロジーと、プロフェッショナル品質のハイエンドデスクトップレコーディングソリューションを組み合わせ、スタジオ/モバイル向けの革新的なオーディオインターフェースです。

ダイナミックレンジ 118 dB(a)の超高品質 24 bit / 96 kHz AD コンバーターとダイナミックレンジ 123 dB(a)の 24 bit / 96 kHz DA コンバーターを備えます。2 系統のアナログバランスライン入力は、極めて低ノイズかつ正確なサウンドを誇るプロフェッショナル品質マイクプリアンプ、および Hi-Z インストゥルメント入力ステージを搭載します。バランスマスターライン出力は、高精度ステップ式マスターレベルポテンシオメーターで制御可能。高品質ヘッドフォン出力端子も備えます。

入力段は、2 系統の XLR/TRS コンボ入力対応のバランス入力を備え、ライン、マイクロフォン、インストゥルメント入力 (Hi-Z) に対応します。2 系統のハイエンドマイクプリアンプ (超低ノイズ入力)、超高品質 AD コンバーターにより、背景ノイズの無い極めてハイエンドでクリーンなサウンドをキャプチャー可能です。

planet 22x は、付属の DC12V 電源アダプターの他、PoE (Power over Ethernet) によるネットワークケーブルでも駆動可能です。近くに電源コンセントが無い環境でも、planet 22x を使用することができます。

Dante に対応することで、同じ IP オーディオネットワークに接続された他の Dante 機器との併用が可能です。既存のあらゆるネットワークを拡張しオーディオチャンネルを追加するコストパフォーマンスに優れたソリューションを提供します。また Dante Virtual Soundcard を用いた柔軟なプロフェッショナルオーディオインターフェースとしても設計されているため、プロフェッショナルスタジオにおける Mac/PC を用いたあらゆるレコーディング事例に対応します。

Dante<sup>®</sup>および Audinate<sup>®</sup>は、Audinate Pty Ltd.の登録商標です。

## 1.1 主な機能



図 1 : planet 22x フロントパネル

MIC	HI-Z	XLR 機能	TRS 機能	+48V スイッチ
OFF	OFF	ライン	ライン	要 OFF
ON	OFF	MIC	MIC	ON オプション
OFF	ON	X	HI-Z	要 OFF
ON	ON	MIC	X	要 OFF

表 2 : INPUT1/2 の入力選択

- LINE INPUT 1 (ライン入力 1)
  1. **HI-Z** : チャンネル 1 のインストゥルメント入力を有効にします
  2. **MIC**: チャンネル 1 のマイクプリアンプ入力を有効にします
  3. **ピーク LED** : 入力信号のレベルを表示します
  4. **GAIN**: 選択した入力ソースのゲインを調整します (Line/MIC/HI-Z)  
表 4.2.2 参照
  
- LINE INPUT 2 (ライン入力 2)
  5. **HI-Z** : チャンネル 2 のインストゥルメント入力を有効にします
  6. **MIC**: チャンネル 2 のマイクプリアンプ入力を有効にします
  7. **ピーク LED** : 入力信号のレベルを表示します
  8. **GAIN**: 選択した入力ソースのゲインを調整します (Line/MIC/HI-Z)  
表 4.2.2 参照

- MASTER (マスター)

9. **+48V LED** : +48V ファンタム電源のステータスを表示します
10. **+48V スイッチ** : コンデンサーマイク用ファンタム電源のオン/オフを切り替えます。ファンタム電源は、INPUT セクションの“MIC”スイッチがオンのときのみ有効になります。+48V ファンタム電源有効時に 1/4"TS オーディオジャックを入力端子に接続すると、回路がショートし planet 22x や外部接続機器が故障する恐れがあります。ご注意ください。
11. **ボリュームノブ** : リアパネルのチャンネル 1/2 出力レベルを調整します。ヘッドフォンのボリューム調整は下記 15 をご参照ください。

- POWER (電源)

12. **電源 LED** : planet 22x の電源ステータスを表示します。
13. **ヘッドフォン出力** : 1/4"TRS オーディオ端子
14. **電源オン/オフスイッチ** :
15. **ヘッドフォン出力ボリュームノブ** : ヘッドフォン出力レベルを調整します。



図 2 : planet 22x リアパネル

- ネットワークおよび電源セクション

1. **ケンジントンロック・スロット** : 必要に応じて盗難防止用ラップトップロック端子を使用できます。
2. **RJ45 ネットワーク入出力** : PoE 対応ネットワーク端子です。
3. **DC 12V** : DC 12V 端子から電源が供給されると、PoE モードは無効になります。端子はセンタープラスです。

- LINE OUTPUTS (ライン出力)
  4. **バランスライン出力チャンネル** : チャンネル1がL、チャンネル2がRです。フロントパネルのマスターボリュームノブ (図1の11) にてレベルを調整できます。
  
- LINE • MIC • HI-Z INPUTS (ライン/マイク/Hi-Z 入力)
  5. **入力チャンネル - XLR/フォーンコンボ端子** : チャンネル1がL、チャンネル2がRです。ライン (XLRまたはTRS)、マイク (XLRまたはTRS)、Hi-Z (TS、1/4"モノラルオーディオジャック) のいずれかを接続できます。接続した入力信号に応じてバランスまたはアンバランスとして動作します。

## 2. その他のソフトウェア

planet 22x を使用するには、Audinate 提供の追加ソフトウェアが必要です。

### 2.1 Dante Virtual Soundcard (DVS)

本製品には、DVS のライセンスが 1 つ付属しています。Audinate のウェブサイトから最新バージョンの DVS をダウンロードしてください。

<https://www.audinate.com/products/software/dante-virtual-soundcard>

次に、お使いの Mac または PC に DVS をインストールします。インストール完了後、ライセンスキーを入力し、アプリケーションを起動します。詳細は、Audinate ウェブサイトのチュートリアルおよび設定例をご参照ください。

### 2.2 Dante Controller (DC)

コンピューターと planet 22x 間でオーディオ信号を送受信するには、Dante Controller ソフトウェアで Transmitter（送信側）と Receiver（受信側）を接続する必要があります。Audinate のウェブサイトから最新バージョンの Dante Controller をダウンロードします。

<https://www.audinate.com/products/software/dante-controller>

次に、Mac または PC に Dante Controller をインストールします。Dante Controller は、ライセンスキー不要で使用できます。設定の詳細は、Audinate ウェブサイトをご参照ください。

### 3. planet 22x を使用する

planet 22x を使用するには、Dante Controller ソフトウェアで入出力を接続する必要があります。具体的には、“Dante Receiver”と“Dante Transmitter”を接続します。たとえば planet 22x の物理チャンネル 1 信号を Virtual Audio Soundcard のチャンネル 1 信号で受信するには、“Dante Transmitter”（送信側）の“planet22x LEFT 1”と“Dante Receiver”（受信側）の“Controller-PC 01”を接続します。

反対に、Virtual Audio Soundcard のチャンネル 1 信号に planet 22x の物理チャンネル 1 を送信したい場合は、“Dante Transmitter”（送信側）の“Controller-PC 01”と“Dante Receiver”（受信側）“planet22x LEFT 1”を接続します。

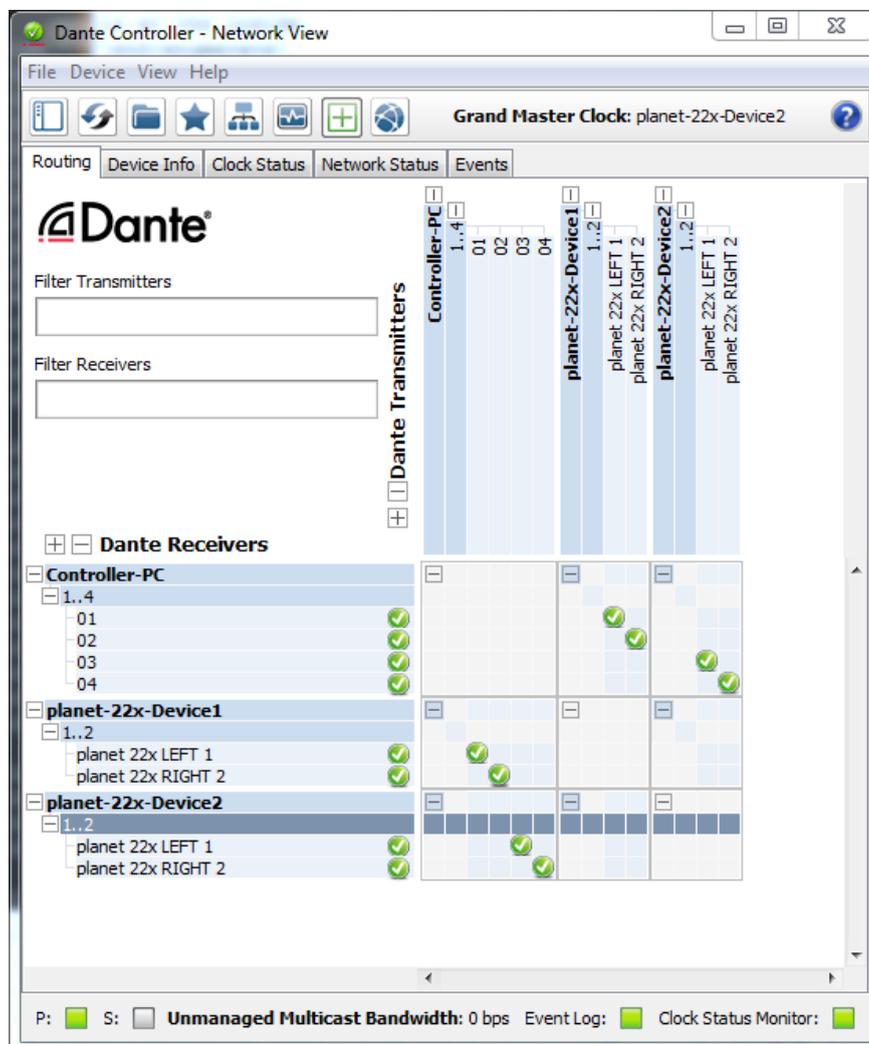


図 3 : planet 22x Dante Controller 設定

詳細は、Audinate ウェブサイト <https://www.audinate.com> をご参照ください。詳細な設定手順やチュートリアルビデオがご覧いただけます。

## 4. 技術仕様

### 4.1 基本

チャンネル	
入力	2
出力	2
サンプルレート :	
	44.1、48、88.2、96 kHz
ビット深度 :	
	16、24、32 Bit
ネットワークインターフェース RJ45 :	
	100 BASE-TX (PoE 対応)

#### 4.1.1 入力

バランス XLR マイク入力 (+48V ファンタム電源対応) x 2

バランス XLR または TRS ライン入力 x 2

Hi-Z TS アンバランスインストゥルメント入力 (選択可) x 2

#### 4.1.2 出力

バランス XLR ライン出力チャンネル (最大+8.4 dBu) x 2

ステップ式ポテンシオメーターによるマスターボリュームコントロール

独立制御可能なステレオヘッドフォン出力 (最大+10 dBu)

#### 4.1.3 寸法

寸法 :	
高さ	4.5 cm
幅	17.5 cm
奥行き	12 cm
重量	590 g



シグナル LED	緑 > -18 dBFS オレンジ > -6 dBFS 赤 >= 0 dBFS
----------	---

### 4.3 電源

電源 :	
消費電力 :	5.4 W (標準)
PoE (Power over Ethernet):	IEEE 802.3af 互換
	入力電圧範囲 36V~57V
	最大出力電力 : 12 W

## 5 一般情報

### 商標

ESI、planet 22xは、ESI Audiotechnik GmbHの商標です。Windowsは、Microsoft Corporationの商標です。その他の製品名及びブランド名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

### 免責事項

すべての機能と仕様は予告なく変更される場合があります。また、このマニュアルの一部は継続的に更新されています。最新の更新情報については、ESI または国内総代理店（株）銀座十字屋ディリгент事業部の Web サイトにてご確認ください。

### お問い合わせ窓口

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、ディリгентのカスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポートサービスをご利用いただくためには、ディリгентへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポートサービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

**ディリгентへのご登録方法**：ディリгентサポートページにアクセスし、ESI オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

- ディリгентサポートサイト：<https://dirigent.jp/support/>

ご登録の完了後、ディリгентサポートページにログインするとお問い合わせフォームをご利用いただけます。

**ESI - Copyright © 2020**

ESI 国内総輸入代理店 株式会社銀座十字屋ディリгент事業部